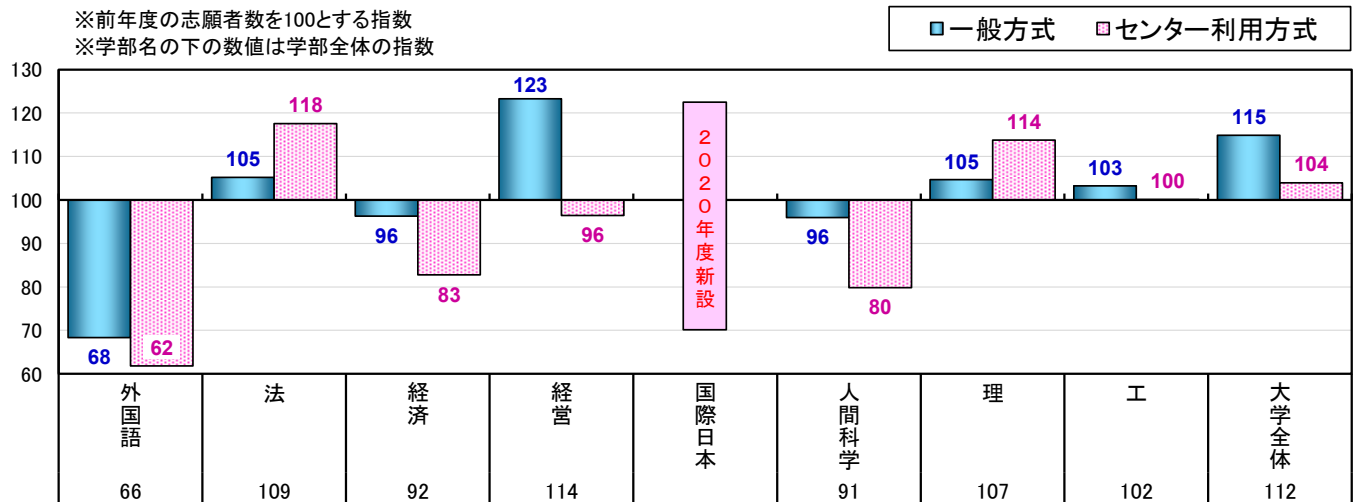


2020年度入試状況分析【私立大】

神奈川大：大学全体では5年連続増加、既存学部のみではやや減少 一般：+3,376人 センター：+400人



入試変更点

学部新設：国際日本(国際文化交流、日本文化、歴史民俗)
 募集停止：外国語(国際文化交流)
 選抜方法：外国語(英語英文)…学科一括募集→プログラム別(IES、GEC)募集
 募集人員：経済<給費生>…26人→20人、経営<給費生>…13人→12人、外国語<給費生>…11人→8人、理<給費生>…9人→10人
 外国語(英語英文)<前期A全国>…25人→23人、<前期A本学>…40人→35人、<前期B>…15人→12人、<前期C>…10人→8人、<後期A>…10人→8人、<セ・前期>…20人→16人
 経済(経済/現代経済)<前期A全国>…105人→90人、<前期A本学>…160人→140人、<前期C>…25人→17人、<後期A>…40人→30人、<セ・前期>…70人→60人
 (経済/経済分析)<前期A全国>…12人→11人、<前期A本学>…18人→15人、<前期B><前期C><後期A>…各5人→各3人
 理(情報科学)<前期C>…5人→2人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、3,776人(112)の増加で5年連続増加。2021年度からのみならずみらいキャンパスへの移転効果も影響。なお、新設の国際日本を除くと、(97)のやや減少。既存の学部では、経営(114)はみならずみらいキャンパスへの移転効果で6年連続増加だが、経済(92)は5年ぶりに減少。外国語(66)は大幅減少。

<一般方式>

- 外国語(68)は、大幅減少だが、国際日本の新設で募集停止となる(国際文化交流)を除くと(100)の前年度並。学科別では、一括募集からプログラム別募集に変更の(英語英文)(92)は減少したが、他の2学科は増加。
- 法(105)は、やや増加で5年連続増加。
- 経済(96)は、やや減少で5年ぶりに減少。学科・専攻別では、(経済/経済分析)(139)、(現代ビジネス)(116)が大幅増加。一方で、(経済/現代経済)(85)は大幅減少だが、募集人員減少で競争はわずかに厳しくなった。
- 経営(123)は、大幅増加で6年連続増加。
- 新設の国際日本は、学部一括募集の<給費生>を除いた学科別の志願倍率は、(日本文化)が31.6倍、(歴史民俗)は17.0倍、(国際文化交流)は7.4倍。
- 人間科学(96)は、やや減少で3年ぶりに減少。
- 理(105)は、やや増加で3年連続増加。学科・プログラム別では、(化学)(117)が大幅増加、(数理・物理)(110)は3年連続増加。
- 工(103)は、やや増加で3年連続増加。学科・プログラム別では、(経営工)(140)、(電気電子情報工)(118)の大幅増加が目立った。

<センター利用方式>

- 外国語(62)は、大幅減少で、国際日本新設で募集停止となる(国際文化交流)を除いても(88)の減少。学科別では、(スペイン語)(153)は大幅増加だが、(英語英文)(65)は大幅減少で5年ぶりに減少。
- 法(118)は、大幅増加で2年ぶりに増加。学科別では、(法律)(138)が大幅増加、(自治行政)(85)は大幅減少でいずれも前年度の大規模な増減の反動が表れた。
- 経済(83)は、大幅減少で2年連続減少。2学科とも減少し、特に(経済)(80)は2専攻とも大幅減少。
- 経営(96)は、2年連続やや減少。
- 新設の国際日本は、学科別の志願倍率は、(日本文化)が104.0倍、(歴史民俗)は25.9倍、(国際文化交流)は8.8倍と極端な志願状況だった。
- 人間科学(80)は、大幅減少で5年ぶりに減少。
- 理(114)は、2年ぶりに増加。(生物科学)(87)のみ減少で、他の4学科は大幅増加。増加率最大の(情報科学)(132)は4年連続増加。